

都市計画道路 大阪河内長野線事業(南工区)

都市計画道路は、都市計画法に定められた都市施設の一つであり、交通機能をはじめ、防災空間やライフラインの収容空間としての機能を有し、まちの骨格となる道路です。

大阪河内長野線は、本市の東部地域を南北に貫き、大阪市及び大阪狭山市に接続する重要な幹線道路の一つです。現在、国道309号や府道大阪狭山線では慢性的な渋滞が発生していることから、本路線の整備により、交通環境の改善を図ります。

また、府道大阪狭山線（現）は幅員が狭く、延焼遮断機能や避難路機能が脆弱であり、かつ周辺地域は、狭隘道路が多く住宅が密集しており、市街地大火に拡大する危険性が高いことから、本路線の整備により、火災時の延焼遮断機能の強化や災害時の避難路機能の強化を図ります。

● 事業による効果

現事業区間の整備を含めた、道路ネットワーク機能の強化



- ・国道309号や府道大阪狭山線の慢性的な渋滞の緩和
- ・周辺の生活道路における通過車両が減少。
（安全な歩行空間を確保・周辺地域の交通環境の改善）
- ・緊急車両の通行、災害時の避難路、延焼遮断機能の強化など防災性の向上。



まちの魅力と活力の向上
市街地の防災・減災機能の強化

● 事業概要

事業区間 東区北野田ほか
事業延長 約0.6km
道路幅員 35m

● 平成29年度の予定

早期事業化に向け、設計及び用地測量を実施します。
（道路予備設計、用地測量業務）

